

令和6年第3回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	4	芦 葉 弘 志	1 公民連携について	他市では、民間事業者と市との連携についての相談等を一元的に受け付ける公民連携総合窓口を設置しているところもあり、市と民間で総合的に発展するように積極的に取り組んでいる自治体が多い。 （1）吉田幼稚園跡地について民間事業者との最新の現状を伺う。 （2）「天神の湯」について民間事業者委託について検討した経緯があれば伺う。 （3）「天神の湯」について今後民間事業者委託について市の考えがあれば伺う。 （4）今後統廃合により、小学校 4 校が廃校予定だが、それぞれの有効活用について民間事業者活用も含めて市の考えを伺う。 （5）幸手市における、民間事業者との連携実績、および今後の展望について伺う。 （6）公民連携総合窓口の設置について市の考えを市長に伺う。

			2 冷水機について	全国で夏季の熱中症による救急搬送は 2010 年以降急激に増加している。熱中症は子どもや高齢者の発症が多く、屋外だけでなく屋内でも発生している。熱中症は防ぐことのできる夏の健康課題である。 (1) 学校を含む、公共施設の冷水機の設置状況を伺う。 (要資料提供) (2) 今後市としての冷水機設置に対する考えを市長に伺う。 (3) ここ数年、企業や自治体でもボトル給水タイプ併設の給水器を取り入れるところが増えている。市としても導入に向けて取り組む必要があると考えるが、市としてのお考えを伺う。 (4) 市民が集う、各公民館、市役所、児童館にボトル給水タイプ併設の給水器を設置した場合の予算額について伺う。
			3 食品ロス削減について	令和元年 10 月 1 日に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」では、食品ロスの削減を、まだ食べることができる食品が廃棄されないようにするための社会的な取り組みと定義し、国や自治体、消費者や事業者が一体となって取り組む国民運動と位置づけられた。 (1) 市として現在食品ロスの削減に対してどのように取り組んでいるのかを伺う。

				(2) 国においては食品ロス削減に関する理解と関心を深めるために、10月を食品ロス削減月間として定めるとしている。今後の幸手市としての対応について伺う。 (3) 飲食店や小売店で閉店間際に残ってしまった料理や惣菜等を消費者とマッチングさせるサービス等、いわゆるフードシェアリングの展開を支援している自治体もある。この支援は有意義かと考えるが、市の見解を伺う。 (4) 企業・商店などから提供された食料品等を、地域に設置された冷蔵庫や冷凍庫で保管し、随時提供するコミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）の、設置や運営等への支援制度を整備し、食の支援を必要とされる地域住民を支える社会環境を整えることは大変に重要と考えるが、市の見解を伺う。 (5) 食に関わる事業者と野菜等の生産者の連携を促し、色や形における規格外品や、食材の皮や芯や種など、出荷や加工前に廃棄されている地域の食材を、出来る限り有効に活用する商品開発や消費の拡大などへの支援を積極的に推進するべきと考えるが、見解を伺う。
2	6	坂 本 達 夫	1 「人権啓発推進埼葛実行委員会」への支出に対する監査委員の監査について	(1) 支出負担行為、支出命令の手続きは、正規の手続きが執られたか監査委員に伺う。 (2) 支出負担行為の支出原因となる行為は、どのような内容でなされたか監査委員に伺う。

				(3) 債務が確定したことを確認する行為は、どのように行われたか監査委員に伺う。 (4) 検査確認の日付、支出の日付を監査委員に伺う。 (5) この支出に対する監査委員の意見を伺う。
			2 幸手駅西口の開発について	(1) 西口停車場線の整備状況（図面での資料請求）を伺う。 (2) 久喜新道及び御成街道から西口停車場線までの整備計画を伺う。 (3) 西口仮設自転車駐車場の今後の整備計画を伺う。
			3 全国新酒鑑評会での金賞受賞について	(1) 金賞を受賞した酒造メーカーを表彰することについて、市長の考えを伺う。 (2) 金賞を受賞した銘柄及び生産地を伺う。また、幸手で酒米作付けの可能性を伺う。 (3) 地元産業育成のため、今後の事業者支援についての市長の考えを伺う。
			4 乗合型デマンドタクシーについて	(1) 乗合型デマンドタクシーの PR を「広報さって」で行うことについて伺う。 (2) 現在の利用登録者数を伺う。

				(3) 現在の利用者数を伺う。 (4) 定員を超える予約があった場合の対応を伺う。 (5) コミュニティセンター～東鷲宮駅間のコースを延長し、市役所～東鷲宮駅間とすることについて伺う。
3	3	宮澤大地	1 幸手市内の防犯対策について	幸手市や近隣市町村の犯罪・事故に関する情報をチェックしていると、空巢や盗難被害、また行方不明者といったニュースがほぼ毎日入ってきます。安心安全なまちづくりを実現する上で、防犯対策の重要性は増してきていると感じます。特に防犯カメラは犯罪や事故の抑止、あるいは追跡といった観点からも非常に効果的です。 幸手市の取り組みとして、公共施設や学校に防犯カメラを設置しているほか「ドライブレコーダーを活用したまちの見守り活動」を行っています。防犯対策の更なる一手として、常に公道や公園を見守る防犯カメラの設置を推し進めたいという思いのもと、本質問をいたします。 (1) 令和 5 年度から現在まで、新たに設置した防犯カメラはあるか伺います。 (2) 千葉県浦安市の取り組みとして、公道・公園にネットワーク型の防犯カメラと電源を供給し、単独で機能するスタンドアローン型の防犯カメラを設置しています。ネットワーク型とスタンドアローン型防犯カメラそれぞれを設置した場合、1 台分の概算費用を伺います。

			2 管理不全の空地対策について	(3) 防犯カメラの設置について令和 5 年第 2 回定例会一般質問で「犯罪発生率が高いという、単なる一般的、抽象的な傾向があるというだけでは肖像権の侵害に当たると解されている場合」があると答弁しています。幸手市では公用車全てにドライブレコーダーを搭載し「動く防犯カメラ」として地域防犯活動を行っていますが、既に設置済みの防犯カメラやドライブレコーダーは肖像権やプライバシーの侵害には当たらないのか伺います。 「幸手市空家等対策計画」策定のため、空家の実態調査を行っているかと思います。 今後空家だけではなく空地も有効活用していかなければなりません。特に管理不全となっている空地は草が繁茂し、夏場は虫が発生する温床となり、冬場は枯草等による火災の危険性が高まります。周辺住民の安心安全はもちろんですが、将来を見据えたまちづくりのため、空家のみならず空地についても考えていく必要があります。 (1) 空家等の実態調査について、調査対象は「一戸建ての住宅、店舗・事務所兼用住宅、全室空き家の集合住宅」としていますが空地については調査外なのか伺います。 (2) 幸手市にて「管理不全の空地」は何件あるか、把握をしているか伺います。 (3) 「管理不全の空地」の苦情に関する年間の件数を伺います。
--	--	--	------------------------	--

				(4)「管理不全の空地」に対してどのような対応をしているのか伺います。
4	7	小林英雄	1 市長が代表者を務めている組織・団体について 2 総合政策部付の事業推進担当設置について	(1) 現在市長が代表者を務めている組織・団体がどの程度あるのか伺う。また、いつから市長が代表者を務めているのか伺う。(一覧表の資料を請求します) (2) その中で、法律等の定めにより市長が代表者にならないといけない組織・団体があるのか伺う。 (3) (2) 以外の組織・団体で市長が代表者を務めることになった経緯を伺う。 (4) 市長が代表者を務めることで組織・団体にどのようなメリットがあるのか伺う。 (5) 市長が代表者を務めている組織・団体の現状や課題について、市長自身はどのように認識されているのか伺う。 (1) 令和6年度から事業推進担当が設置されたが、その目的考えについて市長に伺う。 (2) 本年4月からスタートして5ヶ月ほど経過したが、仕事内容、成果等について市長に伺う。
5	1	高野優一	1 ヤード規制について	令和6年2月1日に施行されたさいたま市、同7月1日に施行された越谷市に次いで、令和7年1月1日に埼玉県全域に(さいたま市、越谷市を除く)でいわゆる「ヤード」「スクラップヤ

			ード」「金属スクラップヤード」などと呼ばれる事業者の規制が始まり、新規施設設置には許可、既存の施設には届け出が必要となります。そこで、以下の点について伺いいたします。 (1) 幸手市内のヤード設置個所の把握について伺います。 (2) 幸手市内のヤードによる火災、騒音公害や廃油の不法投棄による土壌汚染・水質汚濁などの問題はおきていないか伺います。 (3) (2) 市外で同様の問題はおきていないか伺います。 (4) 埼玉県の規制対象となる再生資源物は「金属」「プラスチック」ですが、さいたま市越谷市においてはゴム、ガラス、コンクリート、陶磁器、木材も含めて規制の対象としていますが、市の考えを伺います。 (5) 規制は必要と考えるが市の考えを伺います。	民間路線バス 2 路線の廃止に伴い、影響を受ける高齢者を中心とした市民の買い物や通院等の日常生活を支えるための交通手段として、乗合型デマンドタクシーの実証運行を令和 6 年 7 月 1 日（月曜日）から開始しました。 (1) 利用者登録人数について伺います。 (2) 利用者数について伺います。（各曜日、各時間帯）
--	--	--	--	--

			3 公共施設のエアコン維持管理について	(3) 利用者からどのような意見があるのか伺います。 (4) 運行期間 1 年の間に増便は考えているのか、考えていないのか伺います。 公共施設の空調は快適な環境を提供し、利用者の健康と快適性を確保するために重要です。 (1) 各施設の空調設備の点検がされているのか伺います。 (2) 各施設の空調設備耐用年数について伺います。 (3) 各施設の空調設備の修理、交換後何年経過しているのか伺います。(資料提供求) (4) 空調設備の故障後の対応について伺います。
6	1 5	大 平 泰 二	1 幸手市のカメ虫発生と防虫対策 2 市内移動販売について	(1) 市内の発生状況と駆除及び防虫対策について。 (2) 繁殖先の調査にドローンを使った方法が用いられているが、当市の調査方法について伺う。 (3) カメ虫除去対策と雑草除去対策は表裏一体であるが今年度幸手市の効果について伺う。 (1) 7月29日からスタートした東側の39ヶ所移動販売の実績について伺う。(公共料金、薬含め)

			3 排水機場の移管について 4 後期高齢者保険証について	(2) 移動販売と防災無線、スマホ等の活用について伺う。 (3) 西側地域移動販売の現状（殆ど知られていない）について。 (4) 幸手市のバックアップ体制について。 (1) 中島用悪水路と中川に合流となる地点に設置されている中島排水機場の移管進捗状況について。 (2) 市内排水機場の移管された時期について。（資料提出） (1) 紙の保険証は12月2日で廃止となる。保険証とマイナンバーカードが一体化されている被保険者数について伺う。 (2) マイナ保険証をもっていない高齢者に送る資格確認書の発行数について伺う。 (3) マイナ保険証と資格確認書で受診料等に違いはでてくるか。 (4) 保険料滞納者に発行されている短期保険証は、保険証廃止に伴って廃止され、滞納者は特別の事情が無い場合窓口で一旦全額負担となるとされているが事実か伺う。またこれらの対象者数についても伺う。
--	--	--	--	---

7	10	松田雅代	1 幸手市庁舎整備基本構想について 2 GIGAスクール構想で目指す教育について	幸手市の最大級の懸案である市庁舎整備の基本構想（素案）がいよいよ完成となる。昨年12月11日に議員に配布された基本構想策定の事業スケジュールでは、素案が9月議会に報告された後、9月～10月に市民説明会、パブリックコメント、議員意見聴取、その後、11月に「幸手市庁舎の在り方検討審議会」の答申を経て、12月に基本構想完成予定とある。 (1) 本事業の付属機関として「幸手市庁舎の在り方検討審議会」が設置されているが会議録が公開されていない。公開予定を伺う。 (2) 昨年12月27日の「市庁舎整備及び同基本構想策定事業に係る説明会」で、候補地の示し方について質問があり、「基本構想の中では可能性の評価はするが決定はしない。決定は委員会」との回答があった。整備候補地の絞り込みはいつ、どのようになされるのか伺う。 幸手市では令和4年5月に「幸手市GIGAスクールガイドライン」を作成し、目指す教育像に向け GIGA 教育を推進してきた。 (1) ICT機器を文具のように活用する学習の進捗はいかがか。 (2) 学校校務のデジタル化の進捗はいかがか。 (3) 文部科学省が実施した「全国学力テスト」の結果、課題解決に取り組み、デジタル端末を活用している学校ほど、平均正答率が高いことが分かったとの報道があるが、幸手
---	----	------	--	---

			3 社会教育団体の後継者問題について	市ではどのように分析しているか。 (4) また、現状の課題をどのように分析しているか伺う。 これまで幸手市の社会教育や生涯学習を担ってこられた各種団体において後継者育成や若い世代へのバトンの継承が難しくなっているとの話を聞く機会が増えている。 (1) 市の社会教育団体及び文化活動団体の活動支援の現状について伺う。 (2) 令和5年度、令和6年度「幸手の教育」には「公民館活動の充実」として、小・中学校との連携が示されているが、具体的にどのような連携が実施されているか。また、これまでで連携の深まった事例があれば伺う。 (3) 今後の支援方針を伺う。
8	2	小 泉 圭 司	1 公共施設の在り方について	(1) 学校が統廃合により廃校になった時の人口に対する影響を市長に伺う。 (2) 廃校後の校舎の計画方針について市長に伺う。 (3) 公共施設等総合管理計画の進捗状況について伺う。
			2 地域公共交通計画について	(1) 幸手市地域公共交通あり方検討会について伺う。 (2) 地域公共交通計画の方向性について伺う。

			3 幸手市の孤独孤立解消に向けた取り組みについて	(1) 市内で開催されている暮らしの保健室や、様々な居場所を視察された内容について副市長に伺う。 (2) こうした居場所について市長に対して何かをご提言されたのか副市長に伺う。 (3) もしご提言されたのであればその内容について伺う。 (4) 幸手市における孤独孤立対策について伺う。
9	14	青木章	1 倉松川、雁橋の対応について 2 内水対策について 3 危機管理の状況について 4 有機フッ素化合物（PFAS）について	(1) 倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書の取り扱いについて。 (2) 埼玉県からの返答について。 (3) 市長の考えと対応について。 (1) 木村市長になってからの対応について。 (2) 今後の対応策について。 (1) 南海トラフ地震臨時情報に対する対応について。 (2) 停電に対する対応について。 (1) PFASに対する認識について。 (2) 埼玉県の対応について。

				(3) 幸手市の対応について。
1 0	5	四 本 奈緒美	1 性被害から子どもを守る為の教育について	子どもに対する性被害・性暴力は、被害にあった当事者の心身に長期にわたり有害な影響を及ぼす極めて悪質な行為である。相手と対等な関係でなかったり、断れない状況であったり、性的な知識が少ないために何をされているかわからなかったり、はっきり嫌だと言えない状況で、子どもたちが被害にあっている。 (1) 学校では、子どもたちを性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないための「生命（いのち）の安全教育」が行われているが、幸手市教育委員会としてどのように進めているのかを伺う。 (2) こどもの被害について、最も身近な立場にある保護者が身につけることが望ましい知識についての啓発資料「こどもたちのためにできること」が内閣府とこども家庭庁において作成されている。保育所や地域子育て支援拠点事業所、母子保健、その他様々な場や機会を通じてこの資料を配布する等により、保護者に周知を行うようこども家庭庁から全国の自治体に通知が発出されていると思うが、周知・啓発活動の取組みについて伺う。 (3) ふじみ野市、坂戸市、川越市、7 月には久喜市で、「思春期からの性と心を知るスペース ユースクリニック」を開催している。ユースクリニックとは、スウェーデン発祥で思春期から20代前半までの若者を対象としたクリニックで、メンタルサポートや性に関する相談を無料で受けられるとこ

			2 災害時の保健衛生環境の整備について	ろである。本市でも開催していくべきと考えるがいかがかを伺う。 国の中央防災会議は本年6月、災害対応の基礎となる防災基本計画を修正した。今回の能登半島地震において問題となった劣悪なトイレ環境を踏まえて、指定避難所の保健衛生環境の整備については、「市町村は、指定避難所等の生活環境を確保するため、必要に応じ仮設トイレやマンホールトイレを早急に設置するとともに、簡易トイレ、トイレカー、トイレトレーラー等のより快適なトイレの設置に配慮するよう努めるものとする。」と明記された。トイレ問題は災害関連死のきっかけにもなる。人の命や尊厳に関わる災害時のトイレ問題の対策に積極的に行動するべきと考える。 (1) 本市の指定避難所のトイレ環境の整備について今後の取組みを伺う。 (2) トイレカー、トイレトレーラーの設置に努力することが明記されている。他自治体の導入事例や能登半島地震での活用事例を踏まえた上での本市の考えを伺う。 (3) トイレカー、トイレトレーラーは緊急防災・減災事業債が活用可能である。ふるさと納税型クラウドファンディング等を併用すれば設置可能と考える。本市の考えを伺う。 (4) (一般社団法人) 助けあいジャパンが運営する、災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気にするトイレ」に参画をし、全国の自治体と共に被災地支援に取り組む
--	--	--	----------------------------	--

			3 「マイナ保険証」の普及と利用促進について	べきと考えるが、本市の考えを伺う。 (5) 被災地ではトイレ等でも使用する生活用水の迅速な給水が最重要である。本市の生活用水確保と給水計画等の取組みを伺う。 (6) 在宅避難者、車中避難者、自主避難所等で自ら生活用水を取りに来ることが出来る避難者の迅速な給水のために第2浄水場隣の旧東分署跡地に給水ステーションを設置するべきと考えるが本市の考えを伺う。 本年12月2日から従来の健康保険証は新規発行されなくなり、その後はマイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行をしていく。マイナンバーカードは、デジタル社会における公的基盤であり、マイナ保険証として利用してもらう事で、患者本人の薬剤や診療のデータに基づくより良い医療が提供され、「高額医療制度の限度額認定証」が不要になるなど、患者・医療現場それぞれに多くのメリットがある。更に、電子処方箋や電子カルテの普及・活用など、日本の医療DXを進める上でも重要なベースとなるものである。 (1) マイナンバーカードの保有率を伺う。 (2) マイナ保険証としての利用率を伺う。 (3) マイナ保険証の利用促進に向けた取組みについて伺う。 (4) マイナンバーカードを未だ保有していない方、特に高齢
--	--	--	-------------------------------	---

				者を中心にいらっしゃると思うが、来庁が困難な高齢者施設等の入所者や高齢者世帯などに対しての取得支援の取組み状況を伺う。
1 1	1 2	本 田 謡 子	1 南海トラフ地震臨時情報について 2 災害用備蓄品について 3 幸手市避難所開設訓練業務委託について 4 公共施設における自動販売機設置について	(1) 8月8日に発表された南海トラフ地震臨時情報に対しての市の対応を伺う。 (2) 今後、市として、南海トラフ地震臨時情報の方針と周知、及び対応について伺う。 (1) 災害用備蓄品の期限切れに対する現在の対応について伺う。 (2) 災害用備蓄品の期限切れが生じる備蓄品の管理について伺う。 (3) 災害用備蓄品の期限切れ処分ではない利活用について、市の考えや方針を伺う。 (1) 委託業者決定までの経過等を伺う。 (2) 避難所開設訓練業務を委託した理由を伺う。 (3) 今後における市の支援やサポートについて伺う。 (1) 東公民館や郷土資料館には、去年と同様に自動販売機は設置されていないのかを伺う。

			5 副市長人事について	(2) 公共施設としてそれでよいのか、市長に伺う。 (3) 今後の対応を伺う。 (1) 次の副市長人事について、市長の見解等を伺う。
1 2	9	木 村 治 夫	1 市コミュニティ活動の支援について 2 地域農業の推進と市農業の強化について	(1) 価値観、ライフスタイルの多様化により、自治会加入率の低下などにより、地域コミュニティの希薄化そして、地域の活動を支える担い手不足が課題となっています。市として多くの地域の問題に対し、課題解決のための施策について伺います。 (2) (1) の課題解決に対応した、実践事例について伺います。 (3) 地域団体 5 8 団体が加盟する「幸手市コミュニティづくり推進協議会」を中心に各種活動が実施されていますが、その活動内容、成果、課題について市としての対応、対策について伺います。 (4) 総合振興計画の施策目的である、地域問題に取り組む主体を増やし、自治意識の高揚を図ることとあるが、市として具体的対策について市長に伺います。 (1) 農業生産基盤の整備と優良農地の保全について伺います。 (2) 農業経営の強化と担い手の育成支援について伺います。 (3) 幸手産農業作物の消費拡大と高付加価値化への支援につ

				いて伺います。 (4) 農業に親しむ機会の充実について伺います。 (5) 千塚地区「農振区域」編入の進捗状況について伺います。 (6) 機構集積協力金推進事業について伺います。 (7) 全農「ゆめファーム」施設園芸トレーニング施設設置の進捗状況について伺います。
--	--	--	--	--